

西日本高速道路株式会社中国支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和6年1月19日（金）14:00～17:00 中国支社3階会議室		
出席委員 (五十音順・敬称略)	<ul style="list-style-type: none"> ・石井義裕（広島工業大学教授） ・金 徳謙（広島修道大学教授） ・車元 晋（中根・車元法律事務所弁護士）・田村耕一（広島大学大学院教授） ・日野真裕美（山下・長井法律事務所弁護士）・諸泉利嗣（岡山大学大学院教授） 		
審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年9月30日		
抽出件数／対象件数	6件／103件	件 名 等	
工 事	一般競争入札	1件／4件	・中国自動車道（特定更新等）開作高架橋床版取替工事
	条件付 一般競争入札	2件／29件	・令和4年度 中国西部地区 フリーフロー用無線設備工事 ・令和5年度 山陽自動車道 岡山高速道路事務所管内トンネル円形水路補修工事
	指名競争入札	0件／0件	・
	随意契約	1件／13件	・令和5年度 安来道路 道路保全工事
	調査等	1件／21件	・令和5年度 広島呉道路 呉地区水文調査
維持管理役務及び 物品・役務	1件／36件	・令和5年度 中国支社管内 湿塩散布車購入	
少額契約	0件／0件	_____	

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
入札監視事務局からの報告 ・建築工事において、入札参加者数が少ない要因がわかれば教えていただきたい。	・大阪万博や九州の半導体工場などの需要があり、少なからず影響していると思われ、その中で建築工事業者自体もそうですが設備工事などの下請け業者も確保できない等が要因であると考えております。
入札参加資格停止等運用状況の報告 一次苦情及び一次説明処理状況の報告 発注工事等の報告 ・評価しない提案に対する説明請求に対する回答は、当該提案者のみが確認できるのか、それとも参加者全体に公表されるものなのか。	・参加者が持ち合わせている高度な技術内容を含むものですので、当該提案者のみが確認できます。

抽出事案の審議

中国自動車道（特定更新等）開作高架橋床版取替工事 （一般競争入札：総合評価落札方式（施工計画提案型））

- ・技術評価点の付与点が入札結果に大きく影響していると思われるが、価格評価点によって結果が左右されることもあるのか。また、付与点の設定については「特別な安全対策」や「性能・機能」の中で最も高度な提案をしてきた参加者に付与しているのか。
- ・技術提案について、審査中にNEXCOから参加者に追加で質問することはないのか。
- ・評価しない理由については提案者に公表しているのか。
- ・今回評価しなかった提案に対して、安全対策が確保されているとして評価したことはあるのか。

・総合評価落札方式は、契約制限価格の範囲内において評価値（技術評価点+価格評価点の合計）が最も高い者を落札者となるべき者となるため、価格評価点によって結果が左右されるケースもありえます。また、技術提案は前提として安全担保を最優先した提案を評価しており、その中で各参加者の高度な技術力による着眼点及びその対策の中でも最も優位であると認められた者に付与点を付しております。

・提出された資料のみで審査をしており、審査中に参加者に対して追加で質問をすることはございません。

・評価しない理由については、今後の発注案件の公平性担保に支障となりうる内容については公表を差し控えておりますが、可能な範囲で評価しない提案の理由を提案者に通知しております。

・他者からも同様の提案をいただくことはございますが、今のところ安全対策が確保されると判断できる提案が無いため評価したことはございません。

令和4年度 中国西部地区 フリーフロー用無線設備 工事 （条件付一般競争入札：総合評価落札方式（施工能力評価型））

・本件は事前見積方式を採用し、市場価格を反映した契約制限価格を設定しているにも関わらず低入札調査となっている。要因はどのように考えているか。

・NEXCO3社にまたがる事業であることもあり、他でも受注できたメーカーは、量産（スケールメリット）によるコスト減など機器市場の価格競争が激しいことがあったことが要因と考えております。

<ul style="list-style-type: none"> ・無線技術に関する施工能力はどの評価項目で評価しているのか。昨今の技術革新はめざましく、過去の実績だけで評価するのは妥当といえないのではないか。技術評価点の割合を増加したり技術評価点の内容を刷新したりする必要があるのではないか。 ・機器はどの程度のスペックを求めているのか。 ・ソフトウェアは発注対象ではないのか。 ・「社会的影響のある事故」の定義はされているのか。また、他工種においても「工事中事故に関する項目」は評価対象となっているのか。 ・工事中事故がなければ加点としているが、事故は本来起こしてはならないものなので事故が起きたら減点とするべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の案件は技術的難易度の低い弊社の規格・仕様を満たした設備を取り付けるだけの工事です。よって、施工の能力を求めるもので、機器の能力・性能を求めるものではありません。(技術的難易度の高い工事においては、工事目的物としての性能や機能などを評価している。) ・共通仕様書に定める基準を求めています。 ・ソフトウェアは発注対象としておりません。 ・定義付けはされております。また、「工事中事故に関する項目」はすべての工種に採用されております。 ・今年度の発注工事より評価点の見直しを行い、工事中事故が無ければ加点としていた部分を事故があれば減点する内容に変更しております。
<p>令和5年度 山陽自動車道 岡山高速道路事務所管内トンネル円形水路補修工事 (条件付一般競争入札：総合評価落札方式(施工能力評価型))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑等無し 	
<p>令和5年度 安来道路 道路保全工事 (随意契約：特命契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業績評価において、評価が低い項目も見受けられるが今年度の契約にあたって改善を求めるフィードバックはなされているのか。 ・本件の積算根拠をご教示願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地監督員と受注者の間で改善に係る指導や打ち合わせを行っております。 ・積算については弊社の基準や第三者からの見積を参考としております。

<p>令和5年度 広島呉道路 呉地区水文調査 (調査等：公募型競争入札方式：価格落札方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者選定基準にて社会性に係る項目が大きな比重を占めているように見受けられるが、公募型競争入札(価格落札方式)においては他案件においても同様の項目を基準としているのか。 ・低入札調査の再委任先との関係において「見積書の金額が単価表の対象金額を下回っていること」を確認したとあるが、どのような目的か。 ・協力会社の見積自体が適正か否かは確認するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査業務においてはすべて同基準にて審査しております。 ・再委任先への支払いを十分確保した入札が行われたのかを確認するものです。 ・協力会社自体には調査いたしません。日付や社印に問題なければ、その会社が責任をもって履行できるという意思表示であると理解しております。また、受注者は過去にも同様の低入札調査を受けており、その評定で高評価を受けていることから履行に問題ないと判断いたしました。
<p>令和5年度 中国支社管内 湿塩散布車購入 (物品・役務：一般競争入札：価格落札方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両製造に係る技術革新は評価項目としないのか。 ・契約制限価格と同額の参加者がいるが、契約制限価格はどのように決められたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社にて車両の規格・仕様を定めておりますので、技術提案は求めておりません。 ・入札前に見積を徴収し、最低の価格を契約制限価格として設定しております。

委員会による意見の具申又は勧告の内容

特になし。

入札ルールを適宜アップデートしながら適切に入札を執行していると思われる。